

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

東加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①防災教育	災害から身を守るためには地域住民の協力や自助が必要不可欠であり、このほど、滑川市防災士連絡協議会が設立され、児童館での子ども防災教室の開催等の活動を行っているが、市では子どもたちに対する防災教育や啓発を行っているか。また、今後の考えは。	市では、各小中学校で避難訓練を行っているほか、理科・社会等の中で、水の流れや地層等から津波や地震につながるような授業を行っています。また、保存食や缶詰を使った「防災給食」を実施しました。今年度は、滑川中学校において実際に被災された「語り部」の方に災害や防災についてお話いただくなどの防災教育を行う予定としています。
②地すべり・土砂崩れ	これから梅雨の時期を迎えることもあり、大雨による地すべりや土砂崩れが心配である。現に大崎野から杉本の間にがけ崩れしている箇所もあり、市として対策を考えているか。	平成25年3月に土砂災害ハザードマップを全戸に配布したほか、その詳細版についても対象となる地区に配布しました。ご提言のがけ崩れの箇所はすぐに現地を確認します。また、今月末(5月末)に市内の危険箇所を巡回する「防災パトロール」を実施する予定であり、同箇所をコースとできないか検討します。
③用水	地区内の農業用水が大雨の際、道にあふれ出し土砂と一緒に堆積する箇所がある。また、冬季の除雪時、川に雪が入り水が溢れ周囲へ流れ出す箇所があるが対策を考えているか。	農業用水の氾濫については、管理している東部土地改良区にご相談いただければと思います。除雪の件については、具体的な箇所をお聞きし、対応します。
④ふるさと納税	ふるさと納税について、返礼品の金額等について国から通知が出たと聞いたが、市での取り扱いは。また、どのようなものを返しているのか。	国からの通知の内容は、ふるさと納税の返礼品の金額を寄附額の3割以内に抑えること等であり、本来の趣旨に反する返礼品の過熱競争を抑えるためのもので、市では通知を遵守した運用を行っています。市の返礼品としては、市の特産物であるホタルイカを始めとした海産物・農産物等をご用意しており、5月1日からは品数を増やす等のリニューアルを行いました。今後も、姉妹都市との連携や、魅力ある返礼品の追加などを実施していきたいと考えています。
⑤地域の見守り	地域力を生かした住民主体のまちづくりとして、住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていくために住民は何をすれば良いのか。	少子高齢・核家族化により一人暮らしのお年寄りの方などが孤立しないよう、地域内で安心して集える場所の確保のほか、認知症の方を見守っていただくことなど、行政の力だけでは限度があることから、地域の皆さんにご協力いただきたいと考えており、その内容について今後、各地区で説明会を開催させていただく予定としています。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

東加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑥企業誘致	市内各所で工場の誘致や増築があると聞いている。これらは市での就業者や人口の増加が期待され、市の賑わいにつながる。	現在、市外からの企業進出や、市内企業の増築等、多数の工場等の建設が予定されています。また、企業に来ていただくための受け皿として、今年度、地権者及び各関係者に同意を得たことから、安田工業団地の第4期造成工事を実施する予定としており、今後も積極的に企業誘致に努めます。
⑦融雪溝のフタ	地区内の市道横にある融雪溝のフタが重い。排雪時等に苦労しているので軽いものに交換いただけないか。	平成25年ごろからグレーチングを観音開きのものに随時整備していますが、具体的な場所を確認したうえで、対応を考えます。
⑧害獣対策	サル・イノシシ・クマが増えているが捕獲状況は。	害獣については近年増加しており、昨年度も多くの頭数を捕獲しています。これまでも皆さまには有害鳥獣の出没情報のご提供、追い払い、檻の設置などにご協力いただいているところであり、市としても最大限努力しますが、大切な財産である農作物を守るため、皆さまの努力もお願いします。
⑨手話言語条例	手話言語条例が県内自治体で初の成立となったことから、市職員が率先して手話への見聞を深めたうえで市内外でのPRを行う必要がある。また、手話が必要な方が観光等で市に来られた際の手話による対応も必要である。	市手話言語条例については今年の4月から施行したところであり、ご提言のとおり市民に手話に慣れていただく前に、まずは市職員からということで、関係団体のご協力をいただき、平成29年度新規採用職員を対象に手話の研修会を開催したところです。また、今年度の手話講習会にも職員5人が参加しています。今後も、市職員が手話に触れる機会をつくっていきたいと考えています。(福祉介護課長)
⑩コミュニティバス	東加積地区は眺望が良いがコミュニティバスの便数が少ないなどの理由により、自家用車がないと生活できず、移住者が増えない。公共交通の便が良くないと移住が進まないため、移住を推進できる施策を行ってほしい。	現在市のコミュニティバスは7ルートを1日6便もしくは7便で運行しています。ルート・便数の増加は難しい状況ですが、今後も、様々なご意見をお聞きしながら利便性の良いコミュニティバスの運営を行っていきたいと考えています。
⑪防犯カメラ	犯罪抑止のため、何かあってからでは遅いので、地区内の主要な場所に防犯カメラを設置いただけないか。	防犯カメラの設置については犯罪抑止の効果のほか、住民の皆さまの安心や防犯意識向上につながると考えられるものの、維持管理やプライバシー保護の観点から設置には慎重を期さなければならないと考えています。警察等の関係機関と協議し、適法性・必要性・効果等について総合的に検討します。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

東加積地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑫要望に対する対応	町内の道路整備や補修、カーブミラー設置の要望についての市の対応について、優先度を決めているのか。また、どれくらいの待ち時間があるか。	道路整備や補修等においては、各地区より多くのご要望をいただいております、順番付けというのは難しいところですが、まずは現場を見させていただいて、緊急を要するものであれば、即時対応することとしています。その他の案件についても個別に相談させていただきながら優先度合いを精査し、順次対応しています。 カーブミラー設置についても同様で、通学路で危険度が高いような箇所から対応しており、まずは現場を確認させていただきたいと思います。
⑬空き家対策	町内にも空き家があるが、市ではどのような対策を行っているか。	市には空き家が約750件あり、そのうち、倒壊の危険性があるものについては、周囲の方などから情報を得て、所有者等へ解体を促すなどしています。所有者が対応をされない場合は、市が代わりに解体を行いその費用を所有者等へ請求する「行政代執行」や、固定資産税の特例(税の軽減)の適用外とする方法もありますが、なるべくそうならないよう所有者等で対応されるよう話し合いをしています。なお、利活用できそうな土地・建物については「滑川市空き家・空き地情報バンク」に登録いただければ、その情報を市ホームページ等に掲載し、情報の提供を行います。
⑭介護施設	眺望の良い高台にある東加積地区に介護施設を誘致できないか。	介護施設は、市の介護保険事業計画により、入所される方の人数の見込み等、計画に基づいたうえで整備されています。また、施設の建設は医療法人など、民間事業者が自主的に行うものです。上記の計画の改定時には、入所者数の見込みなどをよく調査したいと思いますので、ご理解願います。
⑮サイレン	火災時のサイレンが、当該地区だけでしか鳴らなくなり、他地区の消防団員は報道等で火災があったことを知るとい状況である。防災無線を活用し、全地域でサイレンを鳴らしてはどうか。	市内一斉に鳴らすことができるよう検討中です。
⑯みのわ温泉	みのわ温泉は市や地区の財産であるが、道中の案内看板は「みのわテニス村」となっているため、温泉をPRする看板を設置してほしい。 「温泉」と表記できない理由があるのか。	みのわはテニスだけでないというPRになると思います。 「温泉」表記についての制限は特になく考えています。